

# 市民劇場



2010  
VOL.217

豊橋演劇鑑賞会会報 ●発行2010年5月21日(金)

くらしの中に演劇文化を広げ、日本演劇の民主的発展をめざしましょう！



## 運命の出会い?! 三文オペラ

大学生になって、先輩に半ば強制的に連れていかれた部室で入部を決めた演劇部。先輩に千三百円持ってこいと言われて初めて観た芝居、それが「三文オペラ」だった。プレヒトの有名な戯曲だと知ったのは随分後のことで、その時はどこの劇団の公演なのか、その日観る演目が何なのかも知らなかった。

しかし、これが私にとっては衝撃的な出会いだった。山陰の小さな田舎町に育った私は、それまで生の舞台など殆ど観たことなかったのだから、この時のショックがどんなものであったか。色鮮やかな舞台衣裳、二階のある舞台、歌あり芝居ありで繰り広げられる世界、あの日のあの舞台が30年経った今もスライドのように、細切れに浮かぶ。そして、この日から芝居は生活の一部になってしまった。

大学を卒業してからは芝居づくりとは縁がなくなったけれど、それ以来、生の舞台を観ることのない生活は考えられない。しばし日常生活から離れて心身をリラックスさせ、頭を活性化させる。育児中もこれだけは止められなかった。この日だけは主人に早く帰って来てもらっていそいそと出かけた。子どもの成長とともに、親子で芝居を楽しみ、今は主人と近所の友達と例会を楽しんでいる。飽きることなどない。描かれている人はみな違っているのだから。

ウッドストック T.izumi

ケイタイでんわの電源は切りましょう！



# \*令嬢ジュリー\*

作……………ストリンドベリ

訳・演出……加 来 英 治



さまようように…落ちていく… (あらすじ)

- 真夏の祭りの夜、伯爵家の台所。下男のジャンが、胸元に
- 汗を滴らせながら、許嫁のクリスティンのところに走り込
- んでくる。「令嬢ジュリーは気が変になっちゃった。この
- 俺とまで、レディ・ワルツのご所望だ。」
- 令嬢ジュリーは、二週間前に婚約を破棄。それからは、神
- 経が昂ぶったり、沈黙したり、そして、今、踊り狂う。
- 狂おしい白夜——二人の心は、いつしか、一つに溶けあう。
- そして、戻り道は、もうない。

作者・ストリンドベリとは

今から一六〇年ほど前（江戸時代末期）ストックホルムで生まれました。商人の父が支配する家庭で、さらに母親が若くして亡くなったため、彼の人間不信は、これが原因だと言われています。かなりの多才で、いろいろな方面に関心を持ち、さまざまな仕事に就きました。

この劇は一八八八年（明治初期）に書かれた、彼の代表作です。彼は、少年時代から年上の女性に憧れ、憧れは一転して自分を受け入れぬ女性への憎しみになっていったようです。

「令嬢ジュリー」とは

美しく気品があり、同時に退廃的で官能におぼれ破滅するジュリーには、作者ストリンドベリの屈折した女性の思いが集約されています。栗原小巻さんは、この多面的なヒロインを、どう造っていかれるか、楽しみな舞台です。百年以上も前に作られた作品ですが、今に生きるテーマだと思います。

# キャスト

## 栗原小巻

ジュリー



我が国の新劇の王道を歩み続けている代表的なスター女優です。知的な美しさはそれだけで観客をひきつけます。が、気品とリアリティのある演技は、ほかのひとでは味わい得ない独特の雰囲気があります。栗原小巻さんは、常に演ずる作品、役に好奇心を持ち、新鮮な意識で役と取り組んでいます。

## 清水総治

ジャン

高校卒業後、俳優座養成所に入所しました。卒業後は、劇団文学座を経て、「自由劇場」と「黒テント」で花形として活躍しました。ユニークな個性派でニヒルを感じさせる人物や内面に屈折した人物の役を演じると、独特の魅力があります。ジャンの役についても、「ジュリーに対する複雑な感情や愛が、ぎりぎり音をたてながら、観客に感

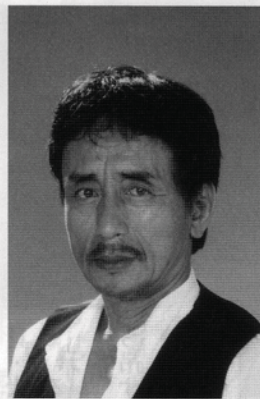
## 木村万里

クリスティン

桐朋学園短期大学演劇部専攻科を終了しました。エイコーンの初舞台は「欲望という名の電車」です。お父様が栗原小巻さんの大ファンで、「このような女性になりなさい」が、口癖であったそうです。その小巻さんとの共演の舞台をお父様に観てもらえないことが「今でも、残

じてもらえるように演じたい」と言ってます。

「観ている人の想像力に火を付け、自分自身も楽しみたい」と稽古に励んだそうです。



念に思われてならない。」そうです。

「令嬢ジュリーでは、木村らしいね。と言われるような役づくりをしたい。」と言われています。



## エイコーンとは

栗原小巻さんが俳優生活二十周年の一九八六年に、自主企画公演のために創立しました。俳優座の枠を離れた演劇活動に積極的に取り組んでいます。

特に、俳優座で演出を受けた千田是也氏が亡くなってからは栗原小巻さんの活動の中心となっています。

エイコーンの上演作品は、全国の演劇鑑賞会の人々との話し合いで決めることが多く、一緒になって作品を完成させていきます。

演出の加来英治さんは栗原小巻さんの弟です。



★5月21日(金) 6:45開演  
★5月22日(土) 1:30開演  
(2ステージ)  
★上演時間 1時間55分(予定)  
(休憩なし)(開場は開演の30分前)  
★豊橋勤労福祉会館  
(アイプラザ豊橋)

担当 メリーポピンス 鳳来タ

一度でよい、死んでも名の残る立派な仕事が出来たい

落慶式前夜、猛烈な嵐が来る。塔は大丈夫か？



幸田露伴原作の「五重塔」を津上忠が脚色、一九六五年の初演以来四十年以上の歴史をもつ前進座の「財産演目」だ。  
七〇〇回を超える上演の重みがあり、小道具・大道具・照明、音楽効果も積み上げられている。さらに脚色した津上忠は、原作になり、真柱を土台の中央に固定せず、鎖で上から吊す工夫を加え、この作品に新たな命を吹き込んでいる。前進座全員で、実に丁寧な心を込めて演じている。

\*——\* 出演者 \*——\*

十兵衛…嵐 圭史  
源太…藤川矢之輔

お吉…小林祥子  
お浪…浜名実貴

上人…中村鶴蔵

- 7月19日(月) 6:45開演
- 7月20日(火) 1:30開演  
(2ステージ)

●上演時間2時間40分  
(休憩15分)  
(開場は開演の30分前)

●豊橋勤労福祉会館  
(アイプラザ豊橋)

さようなら  
井上ひさしさん



故 井上ひさし さん

えて60作品以上にのぼります。井上さんの最後の上演作品は、昨年の秋に東京で上演された「組曲、虐殺」でした。プロレタリア作家小林多喜二の評伝劇で大きな話題を呼びました。

さる四月九日、『現代の文豪』と言っても過言ではない劇作家・作家で文化功労者の井上ひさしさんが肺がんのためお亡くなりになりました（享年75歳）。井上ひさしさん逝去の知らせは、各界のみならず鑑賞会においても大きな衝撃を与え悲しみに包まれました。

『現代の戯作者』と呼ばれた井上ひさしさんの作品は、W・シェイクスピアの作品群をはるかに越えて60作品以上にのぼります。井上さんの最後の上演作品は、昨年の秋に東京で上演された「組曲、虐殺」でした。プロレタリア作家小林多喜二の評伝劇で大きな話題を呼びました。

豊橋では、これまでに21作品を例会に取り上げてきました。鑑賞会では絶対に欠かすことのできない例会ラインナップの一つでありました。また、地方で井上ひさし作品が観られるのも鑑賞会の特徴といえるのではなかったかと思えます。日本語を知りぬき、その特性を台詞に十分に生かして、私たちを笑いの世界に導いていく鋭い風刺と日本人が決して忘れて

はならないこと、それは戦争と平和の問題であったり、日本が歩んできた歴史の問題であったり、他人を思いやる人間を見る優しいまなざしであったり、何よりもお芝居を楽しむ豊かな心を持つ事のメッセージがふんだんに盛り込まれていました。このような知の巨人で、日本語を知り尽くした劇作家はもう生まれてこないでしょう。私たちは、偉大な作家と生き、しかもその作品を例会にしてきた事を誇りに思うと同時に、私たち自身の文化的な財産だと思えます。井上ひさしさんはずいぶん前ですが、彼の思いは作品の内に込められていま

す。これからも井上作品をみ続けたい事で、その思いを語り継いでいく事が私たちの使命だと思えます。すばらしい舞台をありがとう！心より、ご冥福をお祈り致します。



故 北林谷栄 さん

さようなら  
北林谷栄さん

さる4月27日（火）に、劇団民藝の俳優・北林谷栄さんが肺炎のためお亡くなりになりました（享年98歳）。北林さんの最後の舞台は、03年3月に上演された「泰山の木の下で」（神部ハナ役）でした。

北林さんは、名優宇野重吉さんと劇団民藝を創立し、戦後の新劇運動を発展させていく中心的な役割を果たされてきました。

これまでに例会にした  
井上ひさしさんの作品

年月	例会	劇団名	作品名
'79.11	第20回	芸能座	しみじみ日本・乃木大将
'81.6	第30回	五月舎	小林一茶
'82.9	第39回	しゃぼん玉座	国語事件殺人辞典
'83.12	第48回	しゃぼん玉座	芭蕉通夜舟
'84.11	特別	地人会	化粧
'85.3	第58回	こまつ座	日本人のへそ
'85.7	特別	しゃぼん玉座	唐来参和
'87.4	第73回	こまつ座	雨
'88.4	第80回	こまつ座	頭痛肩こり樋口一葉
'88.9	第83回	地人会	藪原検校
'89.6	第88回	こまつ座	間に咲く花
'90.6	第95回	こまつ座	十一びきのネコ
'92.11	第110回	こまつ座	人間合格
'93.7	第114回	こまつ座	イーハトーボの劇列車
'95.5	第125回	こまつ座	マンザナ、わが町
'96.5	第132回	こまつ座	頭痛肩こり樋口一葉
'97.11	第141回	こまつ座	花よりタンゴ
'99.11	第153回	こまつ座	きらめく星座
'03.5	第180回	こまつ座	父と暮せば
'04.3	第185回	こまつ座	国語元年
'07.1	第197回	こまつ座	紙屋町さくらホテル
'09.9	第213回	こまつ座	兄おとうと

豊橋の例会では、第8回例会「わが家は楽園」、第98回例会「泰山の木の下で」、第122回例会「粉本榎山節考」で来られています。私たちの鑑賞会が創立20周年を迎えた折に、その記念として「粉本榎山節考」の舞台写真集を刊行しました。北林さんも大変喜んで下さり、その記念講演を引き受けて下さいました。ご高齢でありながらも、モダンで凛とされているお姿が印象深く残っています。鑑賞会をいつも応援して下さいました。心よりご冥福をお祈り致します。

中部・北陸ブロック  
活動交流集会

4月24日〜25日に、七尾にてブロック活動交流集会が開かれました。豊橋からは、坂井、伊藤、大井の3名の役員が参加しました。今回の交流会のテーマは、演劇鑑賞運動における役員・事務局の役割とは何か、というものでした。

この旧くて新しいテーマは、前進の糸口が見出せなくて苦しんでいる団体が多い中で、あらためて考えていかなければならない大きな課題です。集会では、ブロックの運動理念である「より多く人とすべからず豊かにし、日本演劇の民主的発展をめざす」という内容が、役員会の中で学び深め、実践課題とともにサークルに広げられているかどうかの現状を名古屋、津、富山、大垣の4団体から報告してもらいました。実態は日々の運営に追われて、なかなか理念問題の学習が進んでいないことが浮き彫りにされました。鑑賞運動の方向性と運営サークル活動の意義は、理念の深い学習と目標に向かってやり切る実践的構えがなければ見えてこないことだと思います。前例会クリアの課題から逃げている役員会の団体ほど、大きく会員数を減らしている実態の見える集会でした。

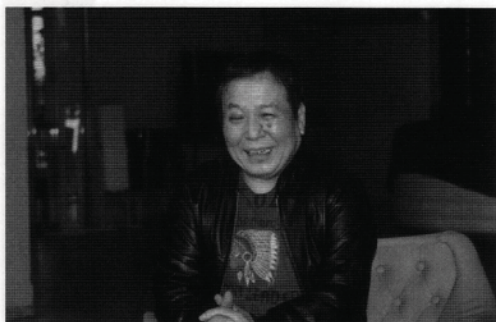
# 「新・裸の大將放浪記」

## 山下清役 芦屋小雁さんへのインタビュ―

今回は「新・裸の大將放浪記」で主役の山下清役を演じていらっしゃる芦屋小雁さんにお話を伺いました。

Q失礼ですがこの舞台を始めた5年前でも70才を過ぎていた小雁さんが若い山下清を演じることで苦労話などをお聞かせ下さい。

(A) 兄、雁之助とは2つしか違いません。二人で出ると親子の役が多かったです。私が子どもの役ばかりでした。他でも年寄りのお爺さん役か子どもの役ばかり、真ん中がないんです。だから子どもの役は慣れてたので、山下清は18くらいだからそこそこんな感じじゃないかなと…。この役は雁之助から守って来た役ですが、やっていくうちにまねをするんじゃないかと思ってます。雁之助はホワッとしたゆつくりとした感じ、私は少し早口な感じ、二人足して割ると本物の山下清になると藤本義一さんは言っていました。



Q5年演じられると小雁さんの言われる「山下清の心に近づきたい」に近づいた、とみてよろしいでしょうか？

(A) まだまだもう少し頑張らないといけないと思います。書物とか読ましてもらってまだ書いてあることの裏があるような気がしますが。その裏の部分を追求したいです。そうするともっと人間性が出て味がでる気がします。

Q今回たとえば、どんなシーンに注目して観るとよいでしょうか？

(A) 気に入ってるシーンは「旦那さんとお月さんを見るところ」です。それと気持ち伝えたいのは「講演をしているところ」やあまり笑いはないのですが「アトリエのところ」ですかね。

Q今回のような有名俳優の方々と共演される時はどうですか、大変ですか？

(A) 新劇と商業演劇(喜劇)のコラボは非常に難しいです。パランスの取り方やものしやべり方、間合いをどう取ったらよいかなど違うものがあるんですね。これまでにあまりなかったのですが、やっていくことで何か新しい演劇ができるんじゃないかと思うんです。島田さんは新劇、おともさんは歌手、西崎さんは歌手タレント、そこへ米倉さんが入って難しい感じはしますが、だんだん慣れてきたら楽屋もなごやかになつてうまくいってます。



Q忙しい小雁さんの健康を保つ秘訣は何ですか？

(A) 保てないんです(笑) 私は一日に5食しています。睡眠は3〜4時間しかとらないです。他の人には絶対まねをしないようにと。小さい時分からそうしてきてますから。自分なりのやり方でして、ちよつと食べ過ぎかなと思います。が、この年になつてもどうしても5食、食べてしまうんです。食べたいものは食べて、それが良くないかもしれないませんが、それがエネルギー源です。自分の健康は自分でやらないとだめですよ。

土曜日の開演前のお忙しい時に貴重な時間を戴きお話を聞くことができました。担当は運営サークル田中・浅井・加藤でした。

鑑賞会の未来を語ろう!

### \*\*第35回定期総会のご案内\*\*

- ◎と き: 6月12日(土) 午後1時00分~午後4時50分
- ◎ところ: 豊橋勤労福祉会館 小ホール
- ◎ゲスト: 青年劇場 俳優 葛西和雄 さん(「族譜」に出演)



サークルみんなで参加して、2010年度の活動方針を話し合ってください！  
★欠席されるサークルも委任状を出しましょう。 ◎お問い合わせ: 事務局まで ☎0532-54-1079

「新・裸の大将放浪記」



- 感想文 -

楽しかったね!

ガラストマト

今日のお芝居は楽しかったね。幕が上がって拍手が聞こえるので舞台上に注目しても人影がなく、「？」と思っていると、通路から山下清さんが登場。意表をつく演出に「ぶっぶ。」軍国食堂のご主人と清さんのやりとり「クスクスクス」兵隊検査の場面に「ハッハッハッハッ。」何度も笑えて楽しかったね。

その人らしく生きる

おりえんと 近藤玲子

お兄さんで大ブレイクした「裸の大将」。小雁さんはお兄さんの使われていた衣裳で演じられました。お兄さんとはいえ役者同士、演じるのは容易ではなかったと思います。最初は断られたと聞か

した。私は、お兄さんの裸の大将をよく覚えていませんが、小雁さんの清は素晴らしいです。知恵おくれという役どころがとても自然で、演じている事を忘れてしまいう程でした。純粋で温かい心が舞台上に満ちあふれていました。又、笑いがいっぱい、それが本当に楽しくて、こんなに笑ったのは久しぶりでした。この作品は反戦と、いかなる人間もその人らしく生きる事が出来れば人の一生は大変面白い深いものになる、そんなメッセージを私達に伝えてくれました。

期待どおりの清さん

花ざかり 藤井美和子

映画「裸の大将」を見ていましたので、小雁さんの舞台を楽しみにしていました。期待通りの「天真らんまん」の清さん、動作一つでも自然にふるまい、裸の大将になりきって演じていらつしやいました。又その動作、セリフに笑いがこみあげ楽しい、幸せな時間を過ごすことが出来ました。舞台の最後の火花を見て、代表作である作品を、思い浮かべました。

素直な気持ちで伝わってきた。

ファイブ Y・K

テレビでもよく知られている作品「新裸の大将放浪記」の芝居を楽しく観る事ができました。

八幡学園で見い出された絵の才能が、その後の山下清の人生を変えていく様子。素直な気持ちをスレートに出して優しい気持ちが笑いの中で、あたたかく、心にじゅんと来て、とても楽しかったです。

山下清の優しさにふれる

木宮 山田能婦子

連日鑑賞会ご苦労さまです。昨夜「新裸の大将放浪記」を鑑賞しました。難しくない芝居で声を出して笑ってしまうものでした。今の社会は濁っている。よい状況になってない。人間関係の希薄さ、他人への思いやる心(貧困化)のなさ、困った人のためになれる心の余裕がない。この作品を観て、多くの人が山下清の澄んだ心、優しさ、思いやり、困った人のためになれるよと思つた。最後のシーンの山下清先生の講演、宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ風ニモマケズ」の詩が、今のすさんだ社会を考へるうえで、人間性を回復させるメッセージのようで、とても感動しました。この詩を作品に導入されたことがよかったですと思いました。

身体の中から笑えた!

ゆみはり 白井あや子

日本のゴッホ、山下清の生き方をからだの中から笑って笑って考えさせる本当にたのしい作品でし

た。役者のみなさんおもしろい演技をたのませてもらいました。ありがとございました。

昭和の良き時代かな?あの清スタイルで日本中歩けたし、山や川田畑の自然の豊かさ、人の情けややさしさ、日本のよい風景等々、よき時代を想像しながら、笑いの中にピリッとした一言があり考えさせられました。四十九才短いですね。今生きていればどんな作品を見せてくれるかと思うと残念です。山下清は絵の天才だけでなく言葉の表現者と本に書いてありましたが、その通りと思いました。

小雁さんの山下清

山茶花 田中

太平洋戦争下、あの頃同じ時代を過ごした私には良くわかるお芝居だった。同じ時代を育った私達には一事が万事、軍事一色で小学生といえども軍事教練が課せられていた。そんな中、あんなに純粹に誰にも束縛されず、あるがまま

に暮らせる人があったのだろうか。山下清と言う人は生まれつき特異体質と天才的才能を持った人なのだと思うと共に人情豊かな周りの人々に支えられての事だろうと思う。「裸の大将」では、以前、雁之助さんで舞台、映画で全国的

人気の劇であるが故に、「新・裸の大将」と銘打って、公演に踏み切ったには、それ相当の演出家の思い入れがあった事が感じられた。山下画伯の名画と共に文化遺産として、永く、後生に伝えてほしい。

今回例会の運営担当の私は小雁さんにインタビューの機会を得た。舞台では殆ど小雁さんの独壇場であつたのに反し、お人柄は終始心易くよくお話を下さった。兄上の雁之助さんを真似るのではなく小雁さんのカラーを出したいと自分なりに研究を今も重ねているのだそうだ。タイトルが裸の大将なので役作りには大変苦労されている様子だった。舞台人にとって裸で演技する事は大変難しい。隠すものがなく素を晒すなかで演じることの苛酷さは体験してみなければ分からない。小雁さんは七十年代で二十代を演じているのには先ずは体型をそれに保つて苦労があると思う。舞台は本当に重労働なので小雁さんにはお体に充分気を付けられ、どうか永く続けられます様に。



心の純粋さに触れて

ブルーソックス 斎藤は奈  
客席から小雁さんが登場したのには驚きました。はじめは「ウェルカム」のじいちゃんそのものですが、舞台上に立たれたら山下清にしかみえませんでした。

巨大なおにぎりなど、小道具も裏切られることなくよかったです。

最近心の純粋さに触れることのない日々を送っていました。よい演劇を鑑賞できてうれしかったです。

受け継がれる物

GBEE3 A・O

今回の例会には、いろいろ受け継がれている物が有ると聞き、見る私達の目も、いろいろな所に向けられていたと思います。でも物語が終わるころには、本当に受け継がれている物は、物語の中にある、人に対する思いやりとが、やさしさが上演されるたびに、見ている私達に受け継がれていくのだという事に気付かされました。

観た、笑った、拍手した。

スコピオン3 後藤一男

面白く、十分に楽しめた。  
この一年間ぐらいいの中で、一番客席が沸き拍手が多かった劇だった。演目はだれもが知っている、山下清。演ずる人はTVでお馴染みのベテラン揃い。安心して観る事が出来た。客席と観衆に見立



てた劇中の講演会。謹厳美直な竹まいの米倉さんの易者役も、ひょうきんさんが面白かった。はくれ刑

事純情派の刑事課長役の島田さんにも親しみを感じた。

二階席で観たが、全員セリフの声も充分でよく聞こえた。

年に一回はこの様な文句なしに笑える劇を観たいと思った。

小雁さんに癒されます。

ガラストマトA 近藤

久しぶりに日頃の忙しさも忘れ、クスクスと笑いの出る芝居でした。放浪の先々で出会う人々との楽しい出会い、彼の率直な生き方に誰もが魅了してしまふ。今のこの世の中では、考えられないようなことです。芦屋小雁さんのあの絶妙な台詞の話し方がとても気持ちよく見ていて舞台にのめり込んでしまいました。山下清のいろいろな作品を拝見しましたが、いずれも身近で自然体で、見る人に惹きつけるものばかりですね。それだけに、多くの人々を感動させるのにも知れませんが、昔裸の大將放浪記をテレビで見えていましたが、実際の舞台上で見ると芝居は最高です。

運営サークルのページ

第216回例会  
海流座  
『新・裸の大將放浪記』

入会のお誘い

ガラストマト S

運営サークル会から、入会のお誘いをして下さいと言われ、誰に声を掛けようか?と思ひ悩んでいる時に役員さんから年賀状の友人知人に入会パンフを送ったかどうか?との提案があり、早速郵送しました。結果的には直接入会にはつながらなかったものの、普段年賀状だけだった友人と電話で話をし、最近の情報交換や食事会の約束も出来ました。また、そのおかげか、気持ちがあがらず、周りの趣味の友達にも気軽にパンフレットを渡す事が出来、その中から一人お誘いする事が出来ました。毎回誰かに入会してもらわないと、との気負いばかりが先に立ち、思う様に事が運ばずプレッシャーを感じていましたが、今回は幹事さんからの提案で気持ちが楽だった気がしています。

これからも観続けていきたい

和 浅井 陽

例会参加2回目の演劇鑑賞若葉マークの私でも、今回の「新・裸の大將放浪記」は非常に楽しく鑑賞させていただきました。小雁さんをはじめとするキャストの皆さんが一丸となって創りだす舞台という空間は、どんなに色が鮮やかに映る映像機器でも出せない魅力を感じました。これからもそんな舞台を観続けていきたいです。

カーテンコールに参加

ゆみはり 白井あや子

花束贈呈をはじめ体験しました。花束を出す、タイミングもあり、役者さんの皆さんが受け取ってそれで芝居が生きるし最高と思う。

一つの演劇を成功させるには、会員の一人一人の気持ちが大切。鑑賞会は自分達で作らなければならない。

搬出に参加して

GBEE3 A・O

今回運営サークルになり、搬出の仕事もさせて頂いていただきました。劇団の方々の指示や手際の良さに不慣れな私でも少しは役にたてたのではないかと考えるくらいでした。また、トラックに積み込む順番であんなにあつた大道具も小道具もすべて入ってしまつた事に、本当にびっくりさせられました。次回もぜひ参加してみようと思えます。

～新入会を迎えたサークル～

※数字は入会者数、太字は運営サークルです。

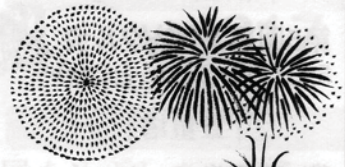
おさ	さん	1	桜	の	園	1	おりえんと	2	1
スコ	ピオン	1	G B E	3	2	女	神	の	空
T	シャ	ツ	1	ガ	ラ	ス	ト	マ	ト
校	折	戸	2	イ	ス	ク	ラ	6	1
G	B	E	2	1	G	B	E	4	1
Z	A	O	2	G	B	E	2	1	2
コ	ツ	ン	シュ	ガ	ー	1	オ	オ	ク
和	3	美	ホ	ケ	3	花	束	贈	呈
スコ	ピオン	3	4	ホ	ケ	フ	ラ	3	3

例会日

3月26日(金)  
3月27日(土)



# 運営サークルのまとめ



## 海流座 「新・裸の大将放浪記」

けでなく、例会を鑑賞会の最高の状態で劇団をお迎え出来ることを目標にしようと確認しました。すなわちサークルで1名以上の新入会を迎え、前例会クリアー達成を最終目標にかかげたということです。運営委員や会報担当、そして第2回目の演劇講座へ向けての準備をしました。

### 第2回 運営サークル会

(22サークル 26名参加)

2月2日(火)に海流座の釘崎康治さんをお迎えして演劇講座を行いました。ユーモアを交えながら海流座のこと、鑑賞運動そして作品について話して頂き、例会への期待が深まりました。後半の運営サークル会では「丁寧で分かり易いお話だった」「お誘いし易い作品なので頑張ってみる」などの感想ができました。また運営サークルとしての抱負を語り合い、目標を再確認しました。そして座席指定の準備・作業の日程と担当を決めました。

### 第1回 運営サークル会

(18サークル 18名参加)

「新・裸の大将放浪記」の運営サークルの皆さんお疲れさまでした。皆さんが最後まで諦めずに頑張った成果として、例会の当日にサークル数、会員数ともに前例会クリアーを達成することができました。ここでそれまでの経緯を報告し、運営サークルのまとめとします。

1月15日(金)にスタート。

第1回目の運営サークル会にしては参加率50%を割り、複数参加もなく、事前のサークル集会も少ない、厳しい出足でした。それでも運営サークルの活動として、座席シール渡しや例会当日の担当だ

### 第3回 運営サークル会

(20サークル 23名参加)

2月18日(木)「冬のライオン」例会が終わって間もなくの運営サークル会でしたので、組織状況を確認し、お誘い状況を出し合いました。この時点では新入会3名、退会20名で、まだ退会締め切り

### 第4回 運営サークル会

(21サークル 22名参加)

期日前だったため、クリアー目標が決定していなかったのですが、ある程度想定した目標を置き頑張ることを確認し合いました。特にお誘いに関して具体的に実践していく内容について話し合いました。「具体的に名前をどんどん挙げていく」「知り合いに「入会案内」をメール便で送る(一筆箋でお便りを添える)」など。後にかなり成果が出ました。最後に小夜流・インタビュール・花束・ロビー交流会も確認しました。

### 運営委員

- ササリンドウ 王前博子
- 山茶花 田中咲子
- おりえんと 宮瀬博之
- GBE 加藤慶吾
- 生活上委員会 蔵地雅彦
- 花ざかり 佐々木栄子
- 和 浅井寧子

### 臨時の運営サークル会

(10サークル 12名参加)

いく明るい内容がでず、正直厳しさを感じる雰囲気はありました。しかししきりして諦めない運動にしたいと追加の運営サークル会を提案し、3月16日に再会する確認をとりました。例会当日の担当を決め、劇団との交流について確認を取りました。

### まとめの会

(12サークル 13名参加)

この後、例会日まで粘り強く運動を続け、例会二日目の午前中に前例会を達成しました。

3月8日(月) 状況としては入会9名、退会43名、例会日まであと18日！運営サークル会に重い空気が漂っていました。しかし考え込んでいても仕方がないので、前へ進む話し合いをしました。お誘い状況の話を中心に会議は進みましたが、なかなか道が開けて

4月6日(火)「新・裸の大将放浪記」のお芝居の感想を語り合いながら、サークル数・会員数ともに前例会クリアー達成することができたのを喜び合いました。厳しい運動でしたがその分、達成感は大きくそれまでの苦勞を一新するまとめの会となりました。作品が良かったのは言うまでもなく(作品の感想を参照下さい)、最高の状態で劇団と交流出来ました。付け足せば年間の会員数のクリアーも達成できたというところで二重に喜べる結果となりました。また来年度へ向けてよい区切りをつけられたと思います。

文責 GBE 加藤

### 会員数

2月「冬のライオン」 1,976名  
3月「新裸の大将放浪記」 1,979名

入会 46名、退会 43名 +3名

### サークル数

+3サークル -2サークル +1サークル  
(新設サークル1、根分け2)

### 運営サークルの活動

運営希望サークル 43サークル  
参加サークル 36サークル  
入会を迎えたサークル 16/36サ 44%  
入会者数 29/46名 63%

### 例会参加状況

3/26(金)ヨル 769名  
3/27(土)ヒル 913名  
計 1,705名  
参加率 86%

## 運営サークル会の日程

### 「令嬢ジュリー」

第5回運営サークル会  
5/31(月)2:00～と7:00～

### 「五重塔」

第1回運営サークル会  
5/28(金)2:00～と7:00～

第2回運営サークル会  
6/8(火)2:00～と7:00～  
演劇講座 ゲスト：藤川矢之輔さん

第3回運営サークル会  
6/17(木)2:00～と7:00～

第4回運営サークル会  
7/2(金)2:00～と7:00～

### 「五重塔」例会

7/19(月) 6:45開演  
7/20(火) 1:30開演

第5回運営サークル会  
7/27(火)2:00～と7:00～

(運営サークル会は代表者  
だけでなく、各サークル  
複数で参加しましょう。)

五重塔の建立という百年に一度という大仕事に人生をかけた男たちのこだわりとロマン。7月例会「五重塔」を運営サークルの手で成功させましょう!

## 7月例会 前進座「五重塔」の運営サークルのみなさん

A番のサークル	B番のサークル	C番のサークル	D番のサークル
真 砂 ポッポ こまくさ おきゃん スコビーオン E・T ミルフィーユ アクアビット	ホトトギス 本 宮 ルージュ サルスベリ Tennis 桔 梗 みゆき ZAOみなみ マジック 三環会 タンポポ ジムニー	ヨシダ文化会 どんぐり 小 窓 天 伯 すこやか すこやかII こまどり 熟女の会 礼登呂1 礼登呂2 タンゲーラ 梅の会 でしべる 浜千鳥 マイカ コ ロ	がまシニア2 がまシニア 白木 連 ガラストマトA ガラストマト 成 章 つげの 葉 月 オットット ハイビスカス 和 思家庭 月下美人 赤ずきん

総数  
54サークル  
309名

## 開演5分前の中央づめについて

\* 舞台と観客の客席を緊密にして観劇しましょう。

開演5分前の1ベルの後、運営サークルの指示で、会場中央に向かって座席の横づめをします。

\* 開演に遅れた方は、2階席へ。

休憩後は指定座席の「列」の空いた席に詰めてすわりましょう。

例会場内での飲食・喫煙、および写真撮影はできません。  
例会場内では、携帯電話、アラーム時計等々の電源をお切り下さい。会員みんなで気持ちよく観劇できるように、協力しましょう!

## 鑑賞会活動日程

「五重塔」観劇希望日≠切日

6/16(水)

「五重塔」座席シール渡し期間

6/26(土)～7/3(土)

「五重塔」例会日(2ステージ)

7/19(月)		(ヨル)6:45～
7/20(火)	(ヒル)1:30～	

\*7月例会は(金)(土)ではありません。

「令嬢ジュリー」後の退会手続き期間

5/24(月)～6/7(月)

中部・北陸ブロック活動日程

全国研究集会	6/5(土)～6(日)
ブロック企画会議	7/3(土)～4(日)

例会の感想や運営についてのご意見をどんどんお寄せ下さい。

☎ 豊橋演劇鑑賞会のメールアドレス ☎ [enkan76@mx2.tees.ne.jp](mailto:enkan76@mx2.tees.ne.jp)